

整序・語形変化 No.1(関係代名詞の省略・
間接疑問ほか) **L2 発展**

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル)	目標時間:15分	満点:100点(自己採点)
-----------------------	----------	---------------

発展の整序は「見えない文法」がテーマ。省略された関係代名詞、消える does、動詞の原形——書かれていないものに気づけるかが分かれ目です。

設問 場面に合う正しい英文を作ろう。並べかえの問題は、3番目と5番目に来るものの組み合わせを選ぶ。

問1(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: You look tired. B: Yes... It(rain)since last night, so I couldn't run this morning. ア has been raining イ is raining ウ rained エ has rain	()
問2(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: What language is this? B: It's English. It is the language(speak)in Australia. ア speaking イ speaks ウ spoke エ spoken	()
問3(15点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「彼女がなぜ怒っているのか、私にはわからない。」 I don't [know / why / she / is / angry]. ア 3番目:why / 5番目:is イ 3番目:she / 5番目:angry ウ 3番目:is / 5番目:she エ 3番目:angry / 5番目:why	()
問4(15点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「これは私があの店で買った本です。」 This is [the book / I / bought / at / that store]. ア 3番目:I / 5番目:at イ 3番目:at / 5番目:bought ウ 3番目:bought / 5番目:that store エ 3番目:the book / 5番目:I	()
問5(20点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「彼は私が宿題をするのを手伝ってくれた。」 He [helped / me / do / my / homework]. ア 3番目:do / 5番目:homework	()

イ 3番目:me / 5番目:my ウ 3番目:my / 5番目:do エ 3番目:homework / 5番目:me	
---	--

問6(20点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「次に何をすべきか教えてください。」 Please [tell / me / what / to / do] next. ア 3番目:to / 5番目:what イ 3番目:me / 5番目:to ウ 3番目:do / 5番目:me エ 3番目:what / 5番目:do	()
---	-----

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえた問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
ア	エ	イ	ウ	ア	エ	/100

問1 正解 ア(15点) | 「ずっと～し続けている」は現在完了進行形

根拠 since last night(昨夜からずっと)＋動作の継続(降り続く)＝現在完了進行形(have/has been＋～ing)。It has been raining since last night.

誤答の切り方

ア	has been raining——「昨夜から今も降り続けている」を正確に表す唯一の形。
イ	is raining は「今降っている」だけで、since(昨夜から)の幅を表せない。
ウ	rained(過去形)だと「昨夜降った(もう終わった)」になり、since と合わない。
エ	has rain は文法的に成立しない(has のあとは過去分詞または been＋ing)。

🔑 この形式のコツ since / for＋動作の動詞(rain / study / play)なら現在完了進行形(has been ～ing)。since / for＋状態の動詞(know / live)なら ふつうの現在完了——動詞の種類で形を選ぶ。

問2 正解 エ(15点) | 名詞の後ろの分詞——「される側」なら過去分詞

根拠 the language()in Australia＝「オーストラリアで話されている言語」。言語は「話される」側なので過去分詞 spoken が名詞を後ろから説明する。the language spoken in Australia。

誤答の切り方

ア	speaking だと「言語が(自分で)話している」ことになり、関係が逆。
イ	speaks は動詞の形。名詞の直後に説明として置かなら分詞にする。
ウ	spoke(過去形)も説明の位置には置けない。
エ	spoken——「話される言語」。過去分詞の後置修飾。

🔑 この形式のコツ 名詞の直後の()は「名詞が する側？される側？」で判定——される側なら過去分詞。the language spoken in ～ は入試最頻出の型なので、このまま暗唱しておく。

問3 正解 イ(15点) | 間接疑問は be動詞でも「疑問詞＋主語＋動詞」

根拠 完成文=I don't know why she is angry. 並び=①know ②why ③she ④is ⑤angry. Why is she angry? が文の中に入ると、is と she がひっくり返って why she is の順になる。

誤答の切り方

ア	why の直後に is が来るのは疑問文のまま入れた誤り。中では主語が先。
イ	know → why → she → is → angry. 3番目 she・5番目 angry。
ウ	is が she より先に来るのは Why is she...? のままの並び。
エ	angry が3番目では説明の順が組めない。

🔑 この形式のコツ be動詞の間接疑問は「ひっくり返しをもどす」だけ(Why is she → why she is)。一般動詞(does が消える)との2パターンをセットで持っておくと、どちらが来ても迷わない。

問4 正解 ウ(15点) | 「名詞＋主語＋動詞」——見えない関係代名詞に気づく

根拠 完成文=This is the book I bought at that store. 並び=①the book ②I ③bought ④at ⑤that store. the book と I の間には関係代名詞(which/that)が省略されている——「名詞＋主語＋動詞」の並びが作れるかが発展の分かれ目。

誤答の切り方

ア	I が3番目になるのは the book が先頭でない並び。説明される名詞が先。
イ	at が bought より先には来ない。動詞→場所の順。
ウ	the book → I bought → at that store. 3番目 bought・5番目 that store。
エ	the book が3番目では This is とつながらない。

🔑 この形式のコツ 語群に which / that が「ない」のに「私買った本」のような日本語があったら、関係代名詞の省略を疑う。〈名詞＋主語＋動詞〉をひとかたまりで作る——L2整序の最重要スキル。

問5 正解 ア(20点) | help+人+動詞の原形—to が「ない」ことに気づく

根拠 完成文=He helped me do my homework. 並び=①helped ②me ③do ④my ⑤homework。help は〈help+人+動詞の原形〉の形を取る—to do ではなく do。語群に to がないことが最大のヒント。

誤答の切り方

ア	helped → me → do → my homework。3番目 do・5番目 homework。
イ	me のあとに my が直接来ると、do の置き場がなくなる。
ウ	my が3番目では「誰を手伝ったか」(me)が消える。
エ	homework が3番目では do とセットになれない。

🔑 この形式のコツ help / let / make のあとは〈人+動詞の原形〉(原形不定詞)。「to がない!」とあわせて、to のない形が正解——語群に to がないこと自体が文法のヒントになっている。

問6 正解 エ(20点) | 疑問詞+to+動詞——「何を／どうやって～すべきか」

根拠 完成文=Please tell me what to do next. 並び=①tell ②me ③what ④to ⑤do。〈tell+人+疑問詞+to+動詞〉——what to do=「何をすべきか」のかたまり。

誤答の切り方

ア	to が what より先には来ない。疑問詞→to→動詞の順。
イ	me のあとが to では、疑問詞の置き場がなくなる。
ウ	do が3番目では what to のかたまりが切れる。
エ	tell me → what to do。3番目 what・5番目 do。

🔑 この形式のコツ 〈疑問詞+to+動詞〉は how to use(使い方)・where to go(行き先)・when to start(始めどき)まで一族まるごと覚える。tell / show / know のあとに置ける便利なかたまり。

今日の文法メモ——まちがえた問題の型をここで確認

問1	現在完了進行形——since／for+動作動詞は has been ～ing
問2	過去分詞の後置修飾——the language spoken in ～
問3	間接疑問(be動詞)——why she is の順にもどす
問4	関係代名詞の省略——〈名詞+主語+動詞〉に気づく
問5	help+人+原形——to がない形が正解
問6	疑問詞+to+動詞——what to do のかたまり

もう一段のぼる 「書かれていない文法」(省略・原形)に気づく力は、長文の速読でも効く。No.2は仮定法と make——気持ちを表す高度な型へ。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(15分+自己採点)。問4(接触節)と問5(原形不定詞)は差がつく2問——正答率をクラスで比べると弱点が見える。配点は問1～4各15点・問5～6各20点。